

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社 UCS（証券コード：ー）

【変更】

長期発行体格付	A +	→	AA-
格付の見通し	ポジティブ	→	安定的

■格付事由

- UCS は、ディスカウントストアのドン・キホーテなどを傘下に擁するパン・パシフィック・インターナショナルホールディングス（PIIH）が、金融事業会社パン・パシフィック・インターナショナルフィナンシャルサービス（PPIF）を通じて 100%出資するクレジットカード会社。PIIH による関与度およびグループにおける経営的重要度を踏まえ、UCS の長期発行体格付は、PIIH のグループ信用力と同等としている。JCR は PPIH のグループ信用力を 1 ノッチ引き上げ「AA-」相当とした。これを受けて、UCS の長期発行体格付についても、同様に 1 ノッチ引き上げた。
- PIIH による関与度は強い。PIIH は PPIF を通じて UCS の議決権を 100%保有しているほか、UCS の複数名の取締役が PPIF の要職を兼任しており、意思決定への関与度や経営管理の一体性が強い。PIIH グループにおける経営的重要度は高い。PIIH が電子マネーmajica や UCS のクレジットカードを軸に金融事業の強化を進める中、UCS は PPIF とともにグループの決済・金融機能の提供や顧客の囲い込みの役割を担っており、戦略的・機能的 중요度が高い。
- UCS は、一定の市場地位・競争力を有する。「UCS カード majica」や「majica donpen card」が主力カードであり、クレジットカード会員数は約 270 万人と業界中堅クラスの会員基盤を持つ。会員数は減少傾向にあり、取扱高の成長率は業界内では低位にとどまっている。一方、グループが展開する majica のアプリ会員数は増加傾向にある。majica の成長を取り込むべく、PIIH グループ一体となって majica との連携や利便性の向上に取り組んでおり、クレジットカード会員数の回復や取扱高増加につなげていけるか見守っていく。
- 収益力には改善の余地がある。会員の獲得・維持にかかるコスト負担が重く、貸倒関連費用も増加している。近年の経常利益は 10 億円台で推移していたが、25/6 期は貸倒引当方針の厳格化により約 18 億円の追加引当を計上したことで、3 億円の赤字となった。利益水準、ROA などでもみた収益性は低位にとどまる。会員基盤の維持・強化のため、今後も積極的にコストを投下する方針であり、利益回復には時間を要すると JCR はみている。
- 資産の質は一定の水準を維持している。営業資産は小口分散の効いたクレジットカード債権が中心である。近年は若年層の取り込み強化や既存会員の与信枠拡大などの影響で延滞債権比率が上昇傾向にあるが、与信管理を強化しており、信用リスクは一定の範囲に抑えられると JCR はみている。
- 資本充実度は十分な水準にある。JCR 調整後の自己資本比率は比較的良好であり、リスク対比の資本の余裕度も十分に確保されている。流動性への懸念は小さい。資金調達には PPIF のグループファイナンスを中心に安定しているほか、債権流動化といった調達手段も備えている。

（担当）坂井 英和・志村 直樹

■格付対象

発行体：株式会社 UCS

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年2月19日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：坂井 英和
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「クレジットカード・信販」（2022年6月21日）、「企業グループの傘下会社の格付方法」（2022年9月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社 UCS
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル